

議題2

ビジョンの実現に向けた推進方法について



みんなで作る

こちよく ちょうどいい

快・適なまち!

- あらゆる市民が自分に最適な暮らしを実感(個別最適)
- 自然環境に配慮し、大切な資源を活かした、持続的な発展(全体最適)
- 様々な主体が、地域の課題解決、新たな価値を創造(市民主体)



取組みの方向性(千葉市スマートシティ推進ビジョンより抜粋)

目指すスマートシティの
実現に向けて、あらゆる分野を
市民(利用者)目線で、

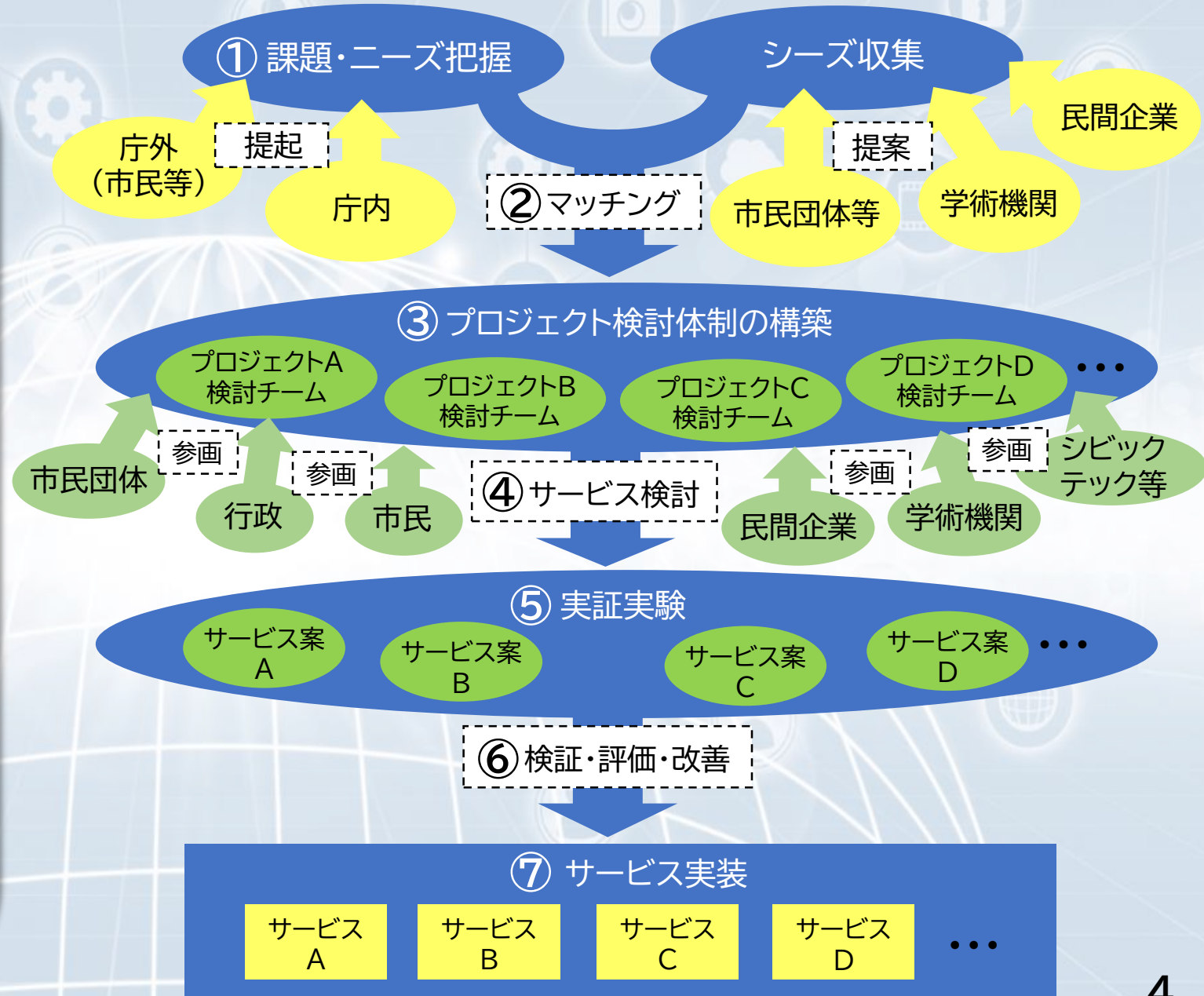
1. 暮らしがスマート!
2. ビジネスがスマート!
3. 学びがスマート!
4. まちがスマート!
5. 市役所がスマート!

上記の5つに分類し、
市民ニーズや地域課題に
基づく様々な取組みを
分野横断的に
順次実施していきます。



スマートシティサービス実装の進め方

- ① 地域課題や市民ニーズの把握
- ② 民間企業等の保有する技術等とのマッチング
- ③ 多様な主体を巻き込んだプロジェクト検討体制の構築
- ④ サービス内容の検討
- ⑤ 実証実験の実施
- ⑥ 実証実験結果の検証・評価、サービス改善
- ⑦ サービス実装



【取組1】市民等への普及啓発

○動画放映による市民周知

- ・千葉市スマートシティ推進ビジョンが目指す、未来の市民の日常生活を描いたイメージ動画を作成し、市内公共施設や民間施設で放映しています。
- ・市民等の目に触れる機会を増やすことで、スマートシティの認知向上や参画意識の高揚を図ります。

【主な放映場所】

- | | |
|------------|----------------|
| ・市役所本庁舎 | ・イオン(2店舗) |
| ・各区役所(6区) | ・千葉信用金庫(15支店) |
| ・各公民館(47館) | ・新型コロナウイルス接種会場 |



スマートシティイメージ動画「スマート家の一日」

○市政出前講座の開催

- ・市民等の集会や会合等に出向き、スマートシティ推進ビジョンや具体的なプロジェクトについて説明し、市民等と対話しながら理解を深めてもらう市政出前講座を実施しています。
- ・出前講座を通して市民等の理解を深めるとともに参加意欲を高め、協働によるスマートシティの実現を促進しています。

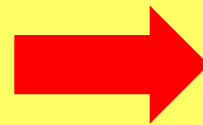
【実施場所】市立高校・市内民間企業 など

【取組2】民間提案総合窓口「コネクテッドセンターちば」の活用

- ・民間企業等からの行政課題や地域課題の解決に向けた提案の受付け、関係部局との調整、各種サポート等を一元的に行う窓口で、庁内関係部局と連携しながら、様々なモノ・コトを「つなぐ」(CONNECT=コネクト)ことで、民間提案の実現をサポートしています。
- ・令和3年4月に開設し、令和3年度は28件の民間提案が寄せられ、6件^(※)の提案を実現しました。
- ・スマートシティ関連の民間提案も本窓口に一本化し、地域課題や市民ニーズ等を提示しながらシーズ提案を受け付け、マッチングに活かしています。

【コンセプト】

民間のアイデアと行政ニーズを「つなぐ」
民間企業と市の関係部局を「つなぐ」
民間提案を具体化・実現に「つなぐ」



様々な課題の解決に「つなぐ」

(※)民間提案マッチング支援事業、木質チップ燃料化事業など

【取組3】スマートシティプロジェクトの作成・可視化

- ・スマートシティ推進ビジョンの実現に向けて、現時点で予定している具体的な取組みをまとめたパンフレットです。(毎年度更新)
- ・スマートシティ推進ビジョンの取組みの方向性に沿って全28プロジェクトを掲載しており、プロジェクトごとに、地域課題や市民ニーズをはじめ、目指す姿や実現に向けた取組み、プロジェクト検討体制等を掲載しています。
- ・本プロジェクトを通して、現在進行形のプロジェクトを見える化することで、市民等にスマートシティの取組状況をわかりやすく伝え、スマートシティの認知向上や各プロジェクトへの参加促進を図ります。



【プロジェクトの内訳】

暮らしがスマート！関連……4プロジェクト
ビジネスがスマート！関連……5プロジェクト
学びがスマート！関連……5プロジェクト
まちがスマート！関連……10プロジェクト
市役所がスマート！関連……4プロジェクト
計 28プロジェクト

【取組4】スマートシティ実証補助①

スマートシティの実現に向けて、テクノロジーの活用などにより市民生活の質の向上を図るとともに、持続可能なまちづくりを進めるため、地域課題の解決や新たな価値の創造に資する民間企業等が行う実証事業の実施に要する経費等の補助を行うことを目的に、今年度創設した補助事業です。

【補助内容】

- ・関係団体等のステークホルダーとの協議・調整
- ・実証フィールド提供
- ・各種相談支援
- ・財政支援(補助金の交付)

【財政支援の内容】

- ・事業名 スマートシティ実証事業(テーマ型) (※)
- ・補助上限額 5,000,000円
- ・補助率 補助対象経費の1/2以内
- ・補助対象経費 報償費・旅費・機器装備費・実証事業実施経費(人件費)など

(※)本市が明示する地域課題に対し、テクノロジーの活用により解決を図るもので、公益性が高く、市民生活の質の向上に資する実証事業

【取組4】スマートシティ実証補助②（実施事例1）



千葉市動物公園におけるAIやカメラを活用した来園者予測等の実証

千葉市動物公園において、来園者向けのサービス向上等に資する取組みとして、AIやカメラの活用により、混雑予測や混雑状況の見える化を行い、ホームページで配信するとともに、予測結果を踏まえて職員の適正配置を行うなど、動物公園の運用面の活用可能性を検証する実証実験です。

【対象となる課題】

- ・来園者予測に基づく動物公園職員の適正配置
- ・園内の滞在者数の把握及び時間別混雑予測の外部配信
- ・園内施設の滞在者数の把握と来園者向けの可視化

【実証期間】

令和4年7月～令和5年3月

【備考】

本実証では、個人情報の収集は行わずに実施しています。



混雑予測サービス画面(当日時間別及び1週間後までの日ごとの混雑予測を公開)



混雑状況の可視化サービス画面(園内)



混雑状況の可視化サービス画面(森のレストラン)

【取組4】スマートシティ実証補助③（実施事例2）

ウェアラブル端末の装着により収集されるデータを活用した特定保健指導

特定保健指導の対象者に腕時計型のウェアラブル端末を装着し、日々収集されるバイタルデータの分析結果を参考に特定保健指導を行う実証実験です。

本実証実験を通して対象者の健康面の効果や、特定保健指導の実施率向上への効果を検証します。

【対象となる課題】

本市国民健康保険の特定保健指導における実施率の向上

【実証期間】

令和4年8月～令和5年3月

【使用するウェアラブル端末】

Fitbit

【対象者】

国民健康保険の特定保健指導
対象者(10名程度)



参加者募集 健康サポート（特定保健指導）のご案内
令和4年度の健診結果より健康サポートが必要な方にお送りしています

さあはじめよう！ 生活習慣改善プログラム

参加者の声

Fitbitを始める事で歩数を見る事が楽しくなりました。

Fitbitで歩数からコメントがあったり、「一人じゃない」とやる気に繋がりました。

大満足。 やっぱいいね。

健康サポート（特定保健指導）とは？

健診結果から、生活習慣病の発症リスクの高い方を対象に、管理栄養士や保健師などの専門職があなたの生活習慣改善に向けたサポートをします。また、ウェアラブル端末を装着し、アプリで自分の行動をモニタリングしながら改善に取り組みます。（費用は無料）

特典

【機能一部紹介】

- ・歩数測定
- ・心拍測定
- ・睡眠の質の測定
- ・運動（ラン・水泳・自転車など）

使用機種はこちら
フィットビット インスパイア 2
Fitbit INSPIRE 2

※プログラム終了後もそのままご自身でお使いください

現在は、

- ①「市民等への普及啓発」によるスマートシティの機運醸成や参画意識の高揚
 - ②「コネクテッドセンターちば」の活用によるニーズ・シーズマッチングの推進
 - ③「スマートシティプロジェクト」の作成による具体的プロジェクトの可視化
 - ④「スマートシティ実証補助」による民間事業者等が実施する実証事業への支援
- により推進していますが、スマートシティサービスの実装には至っていない状況です。

【御意見等をいただきたい事項】

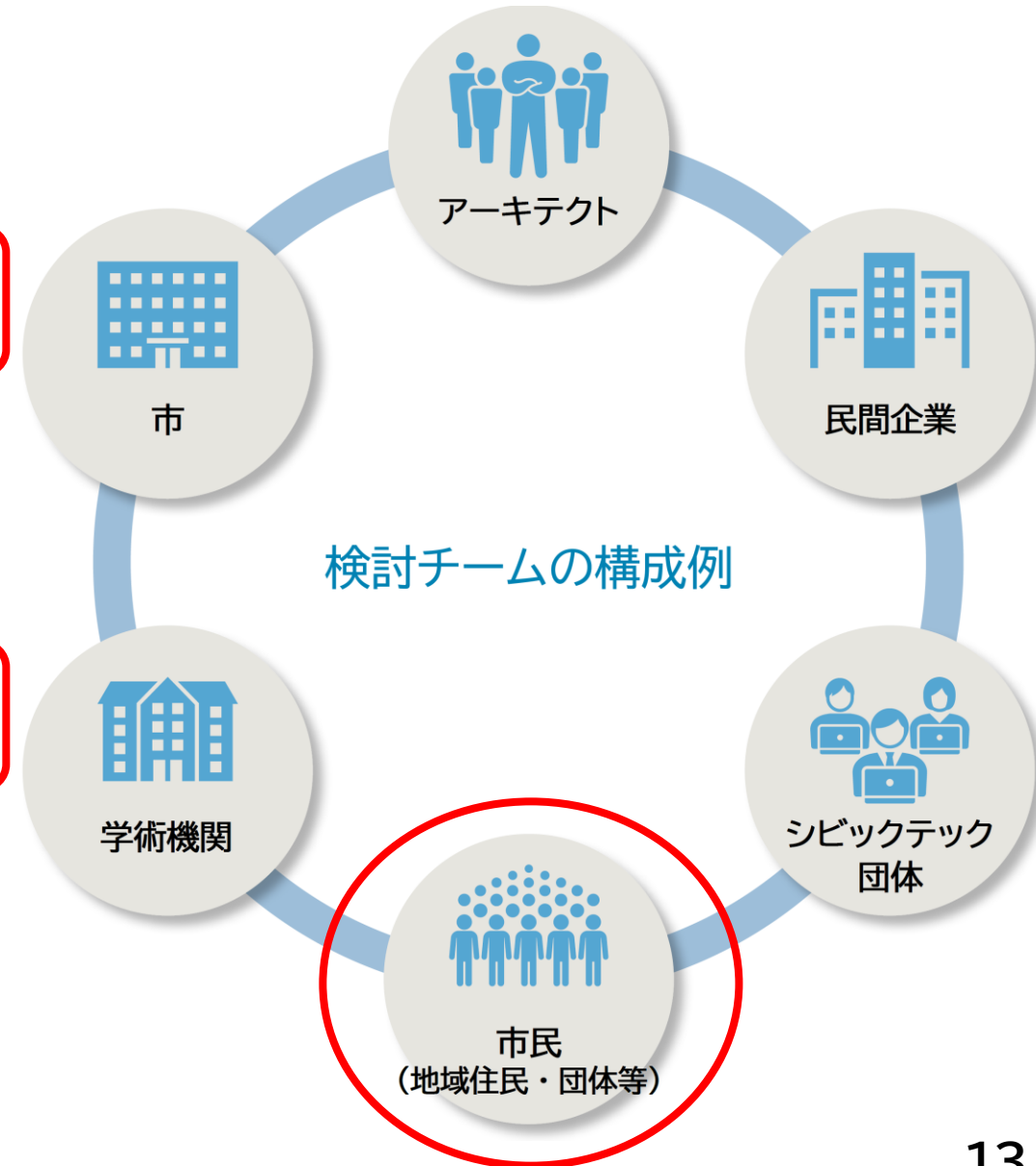
スマートシティサービスを実装に繋げていくために自治体として望ましい取組みについて、国内外の好事例・失敗事例等を踏まえて御意見いただきたい。

議題3

ビジョンの実現に向けた推進体制について

産学官民での協力

- 取組単位で、有識者や民間企業、庁内関係課をはじめとする多様な主体を巻き込んだ検討チームを必要に応じて設置
- 検討チームは、中立的な立場でプロジェクトを牽引し、調整する人材であるアーキテクトを中心とした産官学民で構成
- テクノロジー活用に関する知識と課題解決に前向きな想いを持ったシビックテック団体や民間企業と有機的に連携
- 稼働世代や学生など幅広い年齢層が参加し、多様な意見を引き出し、課題解決策に活かすなど、協働によるまちづくりを推進
- 段階的に行政の主体性を移行し、将来的には検討チームが新たな役割を担うエリアマネジメント団体に発展



推進体制に係る課題①

推進ビジョンでは、

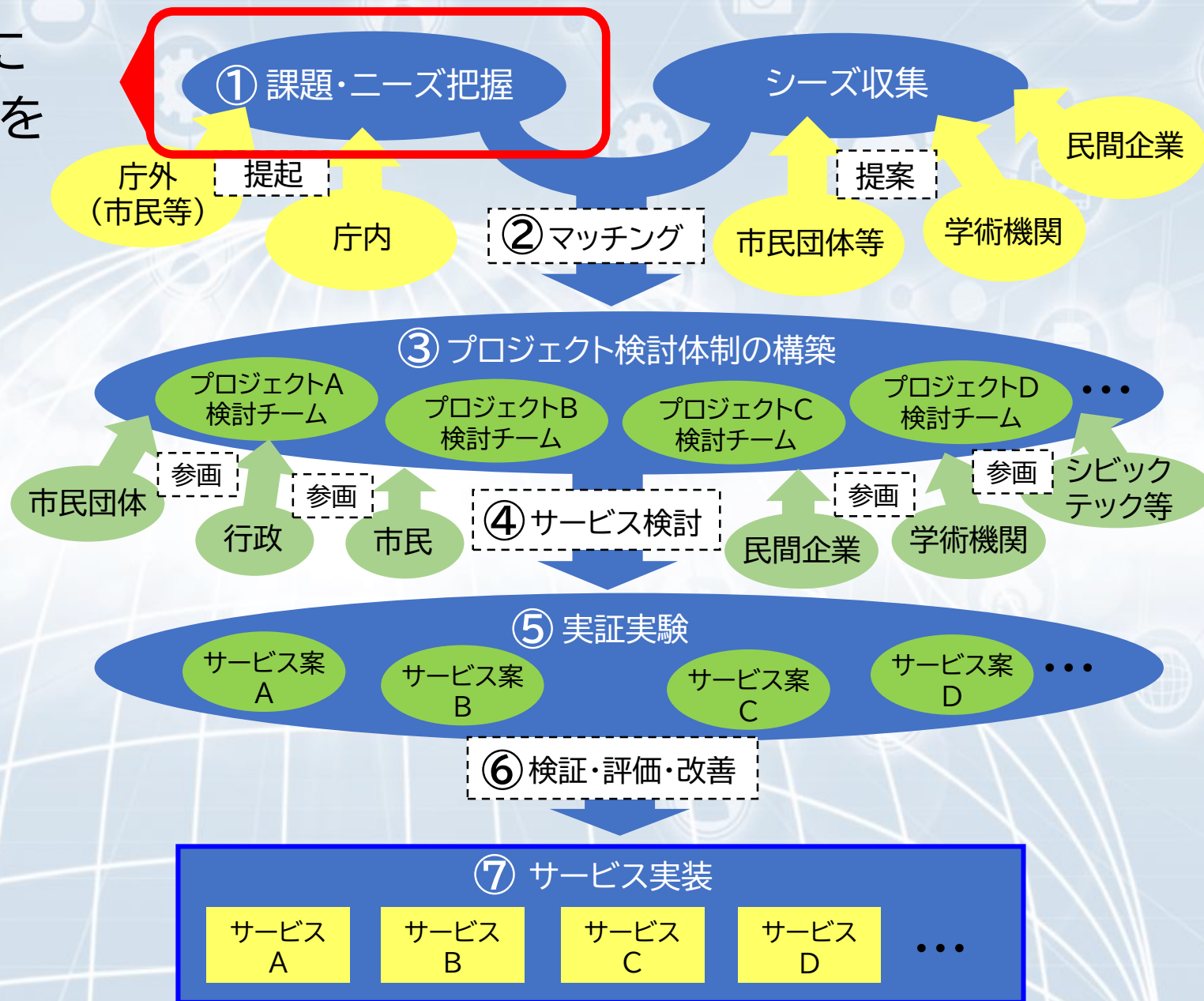
- ・有識者や民間企業、庁内関係課をはじめとする多様な主体の巻き込み
 - ・幅広い年齢層が参加し、多様な意見を引き出し、課題解決策に活かす
- など、多様な主体の参画・協力により、検討チームを設置することとしていますが、現時点では、特定の民間企業と関係部署のみで検討チームが構成されることが多く、市民をはじめとする多様な主体の巻き込みは十分と言えない状況にあります。

【御意見等をいただきたい事項】

- ・市民を始めとする幅広い主体の参画・協力を得ながら、自治体主導型のスマートシティを推進している国内外の事例の中で、好事例・失敗事例を御教示いただきたい。
- ・多様な主体の参画・協力を得ながら進めていくために望ましい手法等について、御意見いただきたい。

スマートシティサービス実装の進め方(再掲)

「課題や市民ニーズ」を起点にマッチングを行い、検討体制を構築することとしています。



No.2

地域コミュニティにおける活動の活性化

現状と課題

- 地域活動参加者の減少
- 住民の高齢化



- 活動の担い手不足
- 団体役員の過度の負担
- 住民間交流の減少



地域コミュニティの希薄化・弱体化

目指す姿



ICTにより、
地域活動団体の
事務負担を軽減

ICTを活用し、
地域活動団体を
より身近なものにし、
参加者を増やす

地域活動団体を
持続可能なものに



実現に向けた取組み

町内自治会活動の推進

- ICTによる地域活動の効率化
- 広報活動の充実を図るため、SNSなどを活用した情報発信の支援
- 町内自治会マップの電子化

多様な主体の情報共有に向けた支援

- 地域で活動する団体同士の連携促進
- 地域の未来予測(将来像の見える化)



ロードマップ

令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

検討・実証・実施

No.7

農業経営者の維持・拡大と流通の多様化

現状と課題

農業経営者の減少及び高齢化の進展



- 青年農業経営者の確保・育成
- 農業現場の効率化・省力化の実現

直売所の売上増やフードテック企業の浸透など、消費行動の多様化に対応した多様な流通手段の実践が不足



- 消費行動の多様化の進展に対応した農産物・加工品の流通手段の多様化

目指す姿



多様かつ意欲ある担い手の出現による活力ある農業の実現



先端技術を用いた、省力化・効率化された農業の実現



流通手段の多様化による市内産農畜産物の販売促進



実現に向けた取り組み

農政センターの機能強化

1 農政センターをスマート農業技術の実証フィールドとし、市内農業者が新たな技術に触れ、体験できる場としてリニューアル

データを駆使した農業経営の支援

2 農業データを総合的に見える化した経営サポートの実施

スマート農業技術導入支援

3 農業の生産性向上や省力化、高品質生産に繋がるスマート農業技術を活用した機器や農業機械の整備などに対する支援を実施

市内産農畜産物の流通手段の多様化

4 ECサイトや食品流通に係るフードテック関連企業との連携、農業者と加工・飲食店などの事業者間の結び付け、流通事業者とのマッチング支援により、農業者の流通手段の多様化を支援

ロードマップ

	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
1			実施		
2			実施		
3			実施		
4					個別マッチングなど

No.16

幕張新都心の回遊性向上による賑わいの創出

現状と課題

- 拠点間に一定の距離があり、住民・就業者・学生・来街者の回遊性が乏しい
- 海辺などの観光資源を十分に活用できておらず、国内外からの来街者は多いものの、エリア全体の賑わいが不足



拠点間の移動負担を軽減し、回遊性の向上により賑わいを創出



目指す姿

エリア内のすべての人が拠点間をストレスなく行き来し、様々なサービスを容易に利用できる賑わいあふれるまちの実現

先端技術を活用した新たな移動手段の確保

幕張新都心版MaaSの導入・実現



実現に向けた取組み

- 1 **先端技術を活用したモビリティサービスの実現**
 - 「自動運転バスの運行」や「自動送迎・無人回収可能なパーソナルモビリティシェアリングサービス」の実現に向けて検討・実証などを実施
- 2 **幕張新都心版MaaSによる付加価値のある快適な移動の実現**
 - 新たに実装するモビリティサービスや既存の交通サービスを1つのIDで利用可能な仕組みの構築。
 - モビリティサービスとエリア内の宿泊、観光、購買、医療サービスなどを一体的に提供するサービスの検討・実施

ロードマップ

	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
1		検討・実証		自動運転(レベル4)運行	
		検討・実証		パーソナルモビリティシェアリングサービス提供(自動送迎・無人回収)	
2	検討・実証		MaaS提供(複数モビリティの一体利用)		提供サービス拡大

推進体制に係る課題②

現時点では、所管部署が市民ニーズや地域課題に基づき実施する取組みを、スマートシティプロジェクトに位置付けていますが、効率性や網羅性の観点から、市民ニーズや課題の把握手法に課題を感じています。

【御意見等をいただきたい事項】

- ・ 市民等が抱えるニーズや課題の把握手法について、国内外の事例の中から好事例や失敗事例を御教示いただきたい。
- ・ 広く、市民等が抱えるニーズや課題を把握するために有効な手法等について、御意見いただきたい。